

平成 22 年号

 まちづくり応援団 えーる

もくじ

第12号

渋川は今、特集（渋川をよくする会、渋川小学校の利用について）

第13号

くちコミ1周年、ひと・もの探訪（Café かつうら）、建国記念の日を祝う会
かののむかしばなし（節分）

第14号

ちひろコンサート、鹿野の桜特集

第15号

鹿野イベントレポート、鹿野の名前の由来、金松桜特集

第16号

佐藤耕司さん、農家レストラン金峰の郷特集

第17号

観光ボランティア活動、劇団「わ」、奥芝洋介さんライブ特集

第18号

日韓交流、二所山田神社清掃活動、漢陽寺の庭園、マーチングバンド特集

第19号

ひと・もの探訪（はなどり）、活鮮ストアー、ジャズ、きんさい！ 鹿野特集

第20号

秋祭り、目観音特集

第21号

農家民主きすなの宿、宝作神社コンサート特集

第22号

紅葉狩り、三勝写真展、里山ミニライブ特集

第23号

超世丸、冬至、宝くじ当選祈願祭特集

号外7

山代和紙と作家たち開催特集

号外8、9

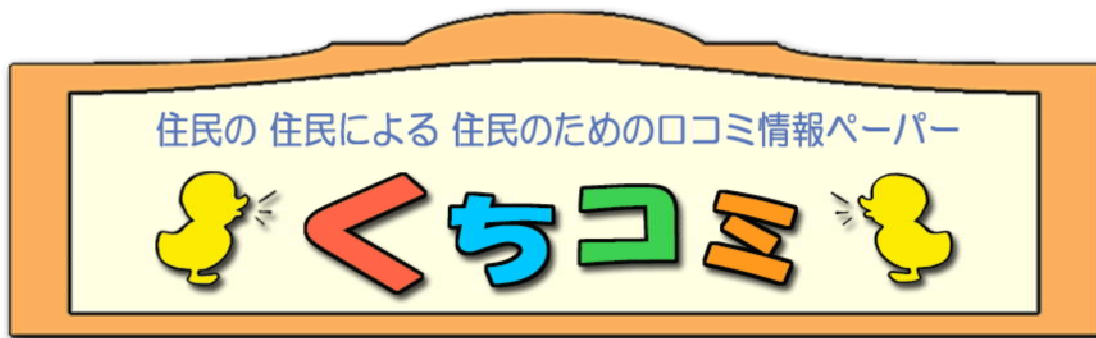
きんさい！ 鹿野特集

ネット版1

銀嶺の舞特集

ネット版2

渋川小学校お別れバザー特集



第 12 号 (平成 22 年 1 月 22 日発行)

渋川は今……

新年あけましておめでとうございます！ 平成 22 年初のくちコミは、^{しぶかわ}渋川地区の話題から始めたいと思います。

皆様は、昨年の 9 月に発行いたしましたくちコミ 8 号を覚えていらっしゃるでしょうか？

8 号では、廃校となってしまう小学校を特集したかと思います。

渋川地区の小学校といえばもちろん渋川小学校ですが、この渋川小もこのたび廃校となる
ことが決定してしまった小学校の一つなんですよね。

そして残念なことに、2 月中に校舎の解体が始まってしまうそうなんです。

現在、渋川地区ではこの小学校の跡地に、地区の方々が新たな建物の建設を計画され、その建物の利用についても話し合いが進んでいます。さる 1 月 10 日に行われた話し合いに参加させていただき、色々なお話をうかがうことができました。

今月号では、渋川地区のがんばっている人たち、そして小学校のその後の足どりを追って
いこうと思います！



こちらが渋川小学校の校舎です。
明治 14 年から平成 3 年までの、なんと 110
年にわたって教育の現場として使われてきた
場所なんですよ。

今は講堂が渋川地区の集会場として使われて
います。
この建物が、どう生まれ変わっていくのでしょ
うか……。

がんばっています、渋川をよくする会

渋川の地域活動を紹介する上で、欠かせないのがこの"渋川をよくする会"の存在です。

1月10日の話し合いの際、現会長である
やすながよしえ
安永芳江さんにお話をうかがうことができました。

"渋川を明るくする"という理念の下、桜やあじさいを植えたり、下の写真にあるように畑を使っての体験学習、句碑の製作など、渋川地区の魅力を最大限に活かした様々な活動を行っていらっしゃるんですよ。



会長の安永芳江さんです。石船温泉そばにある句碑完成までの写真を背景に撮影いたしました。



渋川小学校の裏にある畑です。
こちらで、昨年も体験学習として様々な野菜を植え、掘り出す作業が行われています。参加した子ども達にも、とても好評だったそうですよ！

その他の体験として、魚に串を通して焼いたり、天体観測なども行われていました。

こちらは、石船温泉のそばにある有国遊雲くんの句碑です。

実は、この句碑の製作には渋川地区の皆様力がたくさん関わっているんですよ。
まさに、地域住民の力が集まって完成した碑なんですね！



新しい地域の“中心”めざして……

さて、10日の話し合いに参加させていただいた大きな理由が、この“渋川小学校の利用”についての話し合いに参加させていただくことでした。

解体後、現在の案としては“地域の生産物の加工所”と、“地域の集会所”を組み合わせた建物を建設する話し合いが進められているんですよ。

その建物には、**渋川小学校の一部を再利用**

しよう、という話が持ち上がっています。

現在、屋根を構成している建材や窓のサッシ、新しくできる建物の内装にも、小学校の建材を使用しよう、という動きがあるんですよ。

ただ捨てるだけではなく、少しでも思い出を残して新しい建物を作りたいという考えは、とても素晴らしいものだと思います。

まったく新しいものを作り出すのとは違い、少しでも思い出の残る品物を使うことで、訪れた方にも懐かしい気持ちを抱かせてくれるんじゃないかな、と思いました。

また、太鼓や望遠鏡など、一部の学校用品については長野山や鹿野高原開発さんの手によって再度利用される予定となっています。

学校は廃校になっても、まだまだ現役で使える備品はたくさんあると思います。それらの品物は、きっとこれからも、色々な場所で活躍してくれると思います！



また、渋川についての様々な資料も、新しい建物が建築された後にこの集会所に保管が考えられているそうです。

渋川のものは、渋川にあるのが一番だと思います。その土地ならではの歴史・伝統は、その土地の中にあるこそ意味あるものではないでしょうか？

こちらの講堂は取り壊しはされず、しばらくこのまま存続します。まだまだ、現役でがんばりますよ！

渋川小学校の備品販売します！

以前、"なつかしの学校展"として多くの学校備品が販売されたことがあったかと思います。

今回、鹿野総合支所・地域政策課の主催で、渋川小学校だけの備品販売が行われることになりました！

販売される品目としては、椅子や机といったものから、マットや跳び箱、教材として使われる大きなソロバンや、果ては窓の木枠まで、多種多様な物が販売されるそうです！



学校備品は、まだまだ使える物もたくさんあります。是非、皆様の手でもう一度使ってみませんか？

なお、こちらで購入されなかった物は廃棄されてしまうそうなんです。もしかしたら、思い出の品を手に入れる最後のチャンスになってしまうかも！？

渋川小学校を卒業された方、渋川地区に縁のある方、この機会に懐かしい小学校の品々を、思い出の一つとして買ってみませんか？

バザー開催日程

日時：1月23日（土）・24日（日） 9：00～15：00

場所：渋川小学校にて

当日は渋川地区の皆様より、体の温まる物の販売も予定されています！
まだまだ寒さも厳しい毎日ですが、会場に足を運ばれてみてはどうですか？

町づくり応援団“えーる”
で検索しても出てきます！

～くちコミ 第12号～（平成22年1月22日発行）
発行者：町づくり応援団“えーる”
URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html





第 13 号 (平成 22 年 2 月 27 日発行)

気がつけば 1 年 ～くちコミ 1 周年によせて～

寒いかなと思えばとても暖かい日が続いたり、毎日天候が安定しませんが、皆様はお元気にすごされていますか？

さて、2010 年も気がつけばもう 2 月になっています。

2009 年の今頃は、何をしていたでしょうか……と思い出すと、ふとあることに気がつきます。

くちコミ 1 号を発行したのは、去年の 2 月なんですよ

無我夢中で駆け抜けてきた 1 年でしたが、気がつけば活動 2 年目を迎えることになった町づくり応援団“えーる”。

この 1 年の間、色々な事がありました。

くちコミの発行に続き、号外の発行、9 月には地域デビューイベントに協力させていただき、皆で考えるための町づくりの話し合いなども少しずつ行えてきました。

実は今、4 月に向けてのイベントもこっそりと進行中だったりするんです。

わずかではありますが、皆様のがんばる姿をお届けできたのかな、というふうに思います。

とはいえ、石の上にも三年……というように、まだまだ始まったばかりであることに変わりはありません。最初の 1 年を乗り切り、昨年よりもっと皆様の活動をお届けできるように、フリーペーパーとしても進化していかなければならないな、と気持ちを新たにしていきたいと思っています。

今後も活動の指針である“紹介し、交流し、知ってもらう”という理念を忘れず、皆様の活動をお伝えしていきます。

何かと暗いニュースの多い昨今ですが、そんな中で明るく元気な話題を皆様にお届けできるよう、くちコミ 2 年目もがんばっていきます！

ひと・もの探訪

地域に関係する様々な取り組みをされていらっしゃるこのコーナー。

7号以来ご無沙汰だったこのコーナー、3回目に取り上げますのはカフェ かつうらさんです！

かつうらさんが鹿野に店を出そうと思った
きっかけは、まず何よりも**鹿野の景観が素**

晴らしいからでした。都市部では別にこう
した喫茶店をやるとは思わなかったし、いつかできたらいいな、というぐらいの感覚だったのですが、5年ほど前に鹿野を知り、鹿野に出会えたことでこの店が始まることとなりました。

「**鹿野を若者が土日遊びに来れる、通過点ではなく目的地にしたいんです**」と言うお話も聞くことができました。

その言葉の通り、様々な試みを行って町の活性化を考えられてもいるんですよ。

料理としては、店オリジナルの生地を使ったクレープやワッフルがお勧めです。下の写真のようにランチや、ディナーもやっているんですよ。3月からはこれにモーニングも加わり、食事も充実してきています。また、**本格的に修行を積んだお菓子職人さんによるケーキ**もあります。誕生日などにオリジナルのケーキを作ったりもできるそうなので、是非一度食べられてみてはいかがでしょうか？



料理の他、お客さんが「足が痛い」と言われていたのを聞いて、マッサージなども行っています。

木曜・日曜など（詳しくは要予約です）に行っています。定期的に足を運ばれる方もいますし、短い時間からでも受け付けられるそうです。

料理も、マッサージも、一度経験してみてください。とても気持ちいいですよ

鹿野ICを大潮側に走り、福田果樹園さん、マルタさんを少し過ぎた辺りにある看板が目印です！
お店までの道がかなり狭いので、ご注意ください。

営業時間 9:30 ~ 18:00 (3月より営業時間が変わります！)
営業日 毎週水曜～日曜 (月・火曜でも祝日は営業)
*予約があれば、18:00以降や月・火曜も営業します。
Tel:0834-68-0880

臨時の休業日などのお知らせが発信されているブログは
<http://cafeatsuura.blog48.fc2.com/> こちらどうぞ！



建国記念の日を祝う会、開催

“建国記念の日を祝う会”という会があって、それを取材してほしい……そう取材の要望をいただき、2月11日に行われる同会に取材に行かせていただきました！

ここではその会の様子や、世話人の方へのインタビューをお伝えしたいと思います。

当日はあいにくの雨模様でしたが、30名ほどの参列者が集まり、式に臨みました。

神事の際は写真は撮影を遠慮してほしいということで、その様子を写真でお伝えすることはできませんが、非常に厳かな雰囲気の中で神事は執り行われました。

備え付けられた祭壇にかしわ手を打ち、宮司さんがサッサッと榊を振り……しんと静まり返った館内に、その音だけがとても大きく響いたのを覚えています。



会場はここ、二所山田神社そばの鹿野遺族会館で行われました。



今回の「建国記念の日」を祝う会を取材するにあたって、同会の世話人をされていらっしゃる原 勝己さんにお話をうかがうことができました。

今回から、同会の世話人として活動されることになった原さんですが、建国記念の日を迎えるにあたり、どのようなお気持ちでいらっしゃるのでしょうか？

この会は元々「建国祭」という名前で行われていたんです。

その後、運営を引き継いで実施するようになったのですが、ちょうど2月11日に行っていたこともあり、今回から「建国記念の日を祝う会」と名前を改めてみました。普段は神社の拝殿で行っていますが、今回は参加人数も多く遺族会館をお借りしての開催となったんですよ。

この日には「建国の日をしのび、国を愛する心を養う」という意味があります。

建国神話などの歴史を思いながら、この日への認識を深めていきたいと思います。日本には様々な出来事がある今日に至っています。そうした出来事をしのびながら、日本がより栄え、世界が平和で、鹿野の地域にもっと元気が出るようにと思っています。



鹿野地区のウォーキングは、
4月3日(土) 9:00より
鹿野総合支所をスタートします！

周南市の名所をめぐるウォーキング大会が、今年も実施されます！ 詳細は、市役所などに置かれているチラシや、事務局（：0834-29-1436）にてご確認ください。

かののむかしばなし

倉富良江さんのまとめられた「鹿野の昔話」より、2月のもう一つの大きな行事である節分にまつわるお話を紹介したいと思います。

昔々、山奥に鬼どんが住んでおった。その鬼にはまだ嫁さんがおらん。一人で暮らしておると、鬼と言うてもさびしゅうてかなわんから、山を降りて鬼どんは嫁を探しに行ったんと。

ちょうどその頃、麓の村では日照りが続いておった。このままでは稲がみんな枯れてしまう。村人がほとんど困り果てておったところに、鬼どんがひょいと現れたんじゃ。

「庄屋どん、庄屋どん。何をそんなに困っちゃうんかいや？」

「鬼どん、鬼どん。見ての通り、雨が降らんけえ困っちゃうんじゃあ」

「じゃったら、わしが雨を降らしちゃる。代わりに、あんたの娘をわしの嫁にくれ」

いかに鬼じゃといえども、そうそう簡単に雨が降るもんか。庄屋どんはたかをくくってそう約束をしてしもうた。じゃけんど、その約束をした鬼は大喜びで山に飛んで帰ると、本当に雨雲を呼んで雨を降らしてしもうたんじゃと。

村人は皆大喜び。じゃが、約束を取り付けた庄屋どんはほとんど困り果ててしもうた。

「まさか本当に雨が降るとは思わなんだ。じゃが、約束は約束じゃけえのう」

しゅしゅ、庄屋どんは娘のお福を鬼の嫁に出すことにしたんじゃと。

嫁をもらって鬼どんは大喜び。お福をつれて、山奥の家へと帰っていった。じゃが、お福はそれどころじゃあない。鬼の嫁になるというで、しくしくと泣いておったんじゃ。

それから秋が来て、冬になり、暖かい春が来た。いつものように里の方を見て昔を思い出しておったお福は、「あれ」と声を出した。村の方まで、黄色い菜の花が咲いておったんじゃ。

それは、おっかあがこっそり嫁入りの着物に入れておったナタネじゃった。それが嫁入りの時歩いた道にぼろぼろこぼれておって、春になって、芽を出したんじゃ。

お福は、鬼どんの目を盗んで、その道をたどってまたふるさとに戻る事が出来たんじゃと。

家に帰ってお福がおらんことに気づいた鬼どんは、また庄屋どんの家を訪ねて言った。

「お福さあがおるじゃろう。おらの嫁を、返しておくれ」

どんとどんと戸を叩くと、庄屋どんが炒り豆の入った袋を鬼どんに渡した。

「この豆をまいて、芽が出て花が咲いたら、またお福を迎えに来ておくれ」

鬼どんは帰ってその豆を畑にまいた。じゃが、炒った豆から芽が出るわけもない。とうとう待ちきれなくなった鬼どんはまた庄屋どんの家を訪ねた。

「こら、まだ豆から花が出ちょらんのに迎えに来るな。鬼は外、福は内」

と、炒り豆を鬼どんに投げつけたんじゃ。

それからというもの、毎年2月の頃になると、待ちきれなくなって降りてきた鬼どんに炒り豆を投げる行事が始まったんじゃ。

これが、今に伝わる節分のはじまりになったんじゃと。

【 おしまい 】

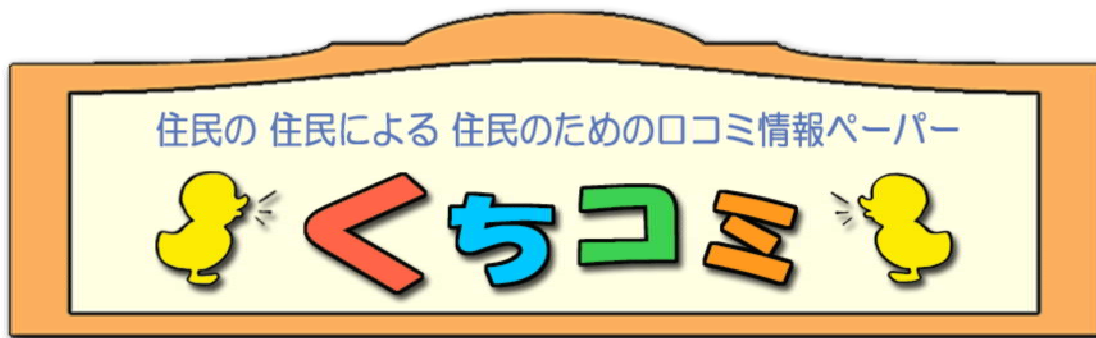
町づくり応援団“えーる”
で検索しても出てきます！

～くちコミ 第13号～(平成22年2月27日発行)

発行者：町づくり応援団“えーる”

URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html





第 14 号 (平成 22 年 3 月 19 日発行)

ちひろコンサート、開演間近！

暖かい日は汗をかくほどになってきましたね！ もう春が近いことをしみじみと感じます。実は先月、くちコミと同じく 2 月にコアプラザかのもオープンし、一周年を迎えました。コアプラザかの所長・公民館館長である福本勝さんにそのことを聞いてみました。

福本所長：「コアプラザが完成し、公民館からの引越し作業を一ヵ月半もかけて、業務の間に行ったことは思い出深いですね。その後は、コアの趣旨である「医療・保健・福祉、そして地域活動のための施設」であるということをしっかりと踏まえた活動を推進していくことを考え始めました。今後は、高齢者のサロンとしての機能を重点的に強化していきたいと思います。また、今回開かれるコンサートのようなイベントや社会活動、神楽などの伝統芸能などの発表の場、文化発表の場としても使ってほしいと思います。地域の皆様との架け橋となり、憩いの場、学習の場として利用していただき、コアプラザかのキャンパスに夢や希望を描いていけるような施設作りを目指してがんばります」

.....コアプラザかのも 2 年目、まだまだがんばってほしいですね！

さて、きたる 3 月 21 日に、そのコアプラザかの 1 周年を記念し、歌手のちひろさんをお招きしてのコンサートを行うことになりました！

コアプラザかので現在流れている BGM を耳にされた方も多いと思います。実はこの歌、ちひろさんが歌っている歌なんですよ。

3 月 21 日 (日) の 10:00 ~ 11:30 にかけて、

1 F 市民交流スペースにてコアプラザかの 1 周年記念式典

の後、ちひろさんのコンサートが開かれます！

皆さんも、その素敵な歌声を、是非聴きに来てくださいね。

コンサートで歌われるちひろさんです。

月でひろった卵の CM ソングなどを歌われているんですよ。



ちひろさんに

インタビュー!

打ち合わせに同席させていただき、ちひろさんへインタビューをすることができました！
コンサートのこと、歌のこと、鹿野について……色々、聞かせていただきました

歌い始めたきっかけはなんですか？

京都の大学を卒業した後、東京に出ていた私は色々な悩みを抱えていたんです。あるとき、自分を見つめなおそうと山口へ戻ったんですが、ちょうどその年は金子みすゞさんの生誕100年の年だったんですね。

その縁で父の持っていた詩集を読んだとき、心臓がドキッとしました。私が、音楽で表現しようと思った世界がそこにあったんです。

その出会いがあって、金子さんの詩に曲をつけて歌う活動を始めたんですよ。

コンサートへの意気込みをどうぞ。

この話をいただいてお話を進めるうち、鹿野に呼んでくださった皆さまの「あたたかさ」をすごく感じました。

そんな皆さまと一緒に、金子みすゞさんの世界を感じることができたらな、と思っています。

鹿野の印象と、鹿野の皆様への一言をお願いします。

鹿野に初めてついたとき、空気がとても澄んでいて清々しかったです。なんだか、すーっとした感じがしました。

鹿野で歌うのは初めてなんですけれど、このコンサートをきっかけにして、もっと皆さまと一緒に金子みすゞさんの世界を共有することができたら素敵だなと思いました。



また、コンサート会場ではちひろさんのCD販売、及びサイン会も行います！コンサート中の写真撮影は禁止ですが、サイン会の時はちょっとしたふれあいもできる……かも？

金子みすゞさんの詩を歌った「花のたましい」(¥2500)の他、童謡・クラシックの入ったCD、和歌の入ったCDなど5種類のCDを販売予定となっております。

同時に今回のコンサートを運営されている組織の一つであるルピナスさんによる福祉バザーとして、石けんや香りつきロウソク、アクセサリー販売の他、喫茶も行われます。

お楽しみに！

この部分を切り取って渡すと、お菓子が350円から250円になりますよ
お一人様につき1枚まで有効です。是非、お持ちください！



お菓子割引券

主催団体紹介

今回のちひろコンサート実行委員会には、コアプラザかの、鹿野公民館、そして鹿野憩いの広場、ルピナスの4団体が含まれています。

そういえば鹿野憩いの広場、ルピナスって、どんな活動をされているんでしょうか。ここではその2団体の紹介をしたいと思います。

「みんなと話がしたい」「友達を作りたい」……そんな目的のもと、色々な人が一緒になって、8年前に始まったのが鹿野憩いの広場です。

観光ボランティアガイドの方と鹿野を散策したり、高齢者センターの皆さんと一緒にちぎり絵を作ったり……その他色々な活動をし、楽しく話をする仲間たちがたくさん集まるようになりました。

わたしも一度、憩いの広場のクリスマス会に参加させてもらったことがあります。

皆が楽しそうに、ケーキに盛り付けをしたり、皿に料理を持ったり、色々な飾りつけをしたり……それぞれが笑顔で、素敵な会を作ることができたんじゃないかな、と思います。

わきあいあいとした雰囲気、参加したわたしも楽しくなって、とても素晴らしい時間をすごせたな、と今でも思っています。

そんな憩いの広場の活動を経て、「支えてもらうだけではなく、自分たちからも何かをしたい」という気持ちが出てきました。その気持ちのもと平成19年から始まったのが、ルピナスなんです。

ルピナスの主な活動としては、石けんや香りつきロウソクなどの生活雑貨や、アクセサリーなども製作しています。光や小郡などのお店で、ご覧になられた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

こうした製作を、自分自身が立てた目標に向けて、自分のペースでがんばっています。そうして出た売り上げは、給料としてではなく積み立てを行い、メンバーが何に使いたいかを話し合い、その活動費として充てられているんですよ。

今回のちひろコンサートにも、この積立金が出演料、ポスター・チラシ代金などとして使われているんですよ。医療・保健・福祉の場であり、憩いの広場の活動場所として日頃から利用しているコアプラザかのが一周年記念イベントを考えていた際に、コアプラザのため、そして地域の人のために一緒にコンサートを開いてみてはどうだろう、という話になりました。

今回のコンサートはその思いが実現し形になったものだと思います。

是非、そんな思いで開かれたこのコンサート、皆で一緒に楽しんでください。



こちらこうした製品のひとつである"幸せ運ぶふくろうキャンドル"です。
皆さんにも、幸せが訪れますように……。

かの
桜
さくら
だより

3月も終わりにになると、少しずつ桜も咲いてきますね。

鹿野の各地にも色々で見所の桜があります。ここでは、その桜の情報をお伝えしようと思います！



昨年植えられた桜です。まだまだこれから……。

金峰神社付近の斜面です。かなり色づいてますね。



くちコミ3号（昨年4月）にお
伝えした金峰^{みたけ}の桜です！

遠目でも、ほんのりと桜色になっているのがわかりました。



新聞にもその名前を取
り上げられた金松^{きんしょう}桜で
す。大泉の公民館辺りか
らその姿を見られます
が、間近で見るとすごく
大きい！ 見上げるほど
の大きさにびっくりしま
した。

こちらはおなじみ、樹齢400年を誇る
鹿野総合支所横の弾正系^{だんしょういとざくら}桜です！

もうつぼみが膨らみ始めていて、そろそ
ろきれいな花が咲きそうな予感がします。

今年は、4月10日（土）の10:00
～13:00に、この桜の下でちょっとし
たイベントも計画中です。

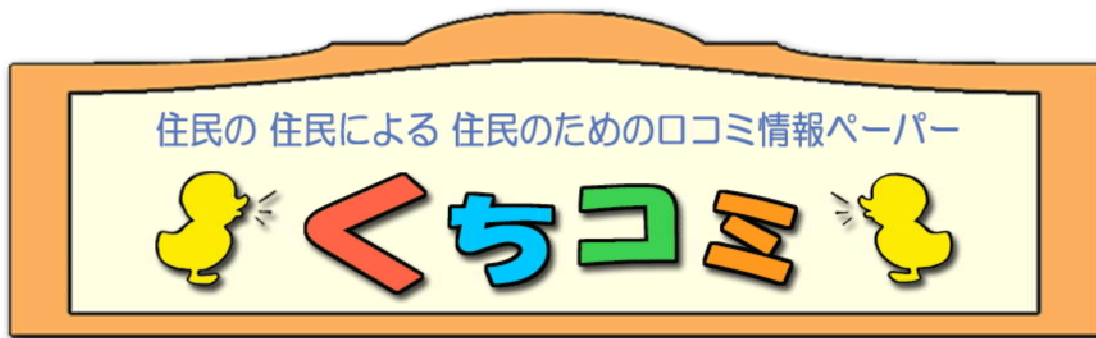
この機会に、ゆっくり桜の下でお花見を
楽しんでみてはいかがでしょうか？



町づくり応援団“えーる”
で検索しても出てきます！

～くちコミ 第14号～（平成22年3月19日発行）
発行者：町づくり応援団“えーる”
URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html





第15号(平成22年4月30日発行)

♪かの・イベントれぽ〜と♪

あわただしい年度末・年度初め時期とはいえ、鹿野は元気です！
3月から4月にかけて行われた様々なイベントの様子をお伝えしようと思います。

3月21日には、コアプラザかのの1周年記念事業でもある、ちひろコンサート(町づくり応援団"えーる"後援)が開催されました！

コアプラザかのの1階ロビーに設営されたステージには220人の方が集まり、その素敵な歌声に耳を傾けていらっしゃいました。

また、会場では主催団体の一つであるルピナスさんによる喫茶コーナーも設けられ、17500円の収益を得ることができました。ルピナスさんは「皆様のおかげでコンサートも成功を収め、本当にありがとうございました。この収益はルピナスの活動の他、またこのようなコンサートを開催するために使わせていただこうと思います」と話されていました。

実はえーるにも、3000枚の用紙を寄付していただいています

この「くちコミ15号」は、そのご厚意によって刷り上げられているんですよ。



ちひろコンサート



4月3・4日には「周南路まるごと2daysウォーク」も開催されました！鹿野では3日(土)に行われ、なんと246名の方が参加されましたんですよ。

4月1～11日には、コアプラザかので鹿野の伝統工芸である山代和紙を用いた作品展「山代和紙と作家たち2010」が開かれました。

"えーる"は主催として関わっています。



山代和紙と 作家たち2010

10日間の開催で、のべ627名のお客様を迎えることができました！

「色々な作品があっておもしろかった」「楽しませてもらった」とたくさんのご声援をいただくことができました。

大盛況のうちに終わることができたのは、左写真のラッピング教室を開催して下さった

おかだまい

岡田舞さんをはじめ、「山代和紙の魅力をPRしたい」という趣旨に賛同して下さった作家の皆様のお力によるものと思います！

きんさい! 鹿野



素敵な日本舞踊を見ることができて良かったです！
(徳山大学留学生の皆様より)



4月10日には、鹿野総合支所の横にある「だんしょういとざくら弾正系桜」を見に来られた方へのおもてなしを行う「きんさい! 鹿野」を主催させていただきました。会場には100名を超えるたくさんの方が集まり、ステージでは日本舞踊の^{やまむらかい}山村会の皆様による踊りも披露されました。総合支所の駐車場が満車になるほど、たくさんの方に会場に足を運んでいただきました！清流通りを散策していた徳山大学の留学生たちも日本舞踊に拍手を送られていましたよ

まるごと鹿野 特産品フェア

4月16～18日の3日間、山口市のゆめタウンにて鹿野の特産品を扱うフェアが開催され、えーるも展示を行いました。

のんたそばや水晶細工、山代和紙やわさび漬などたくさんの鹿野の特産品が並んでいましたよ。

ちぎり絵・竹細工教室や、シイタケのコマ打ちなども行われていました！



ご存知ですか？ “鹿野”の由来

普段、なにげなく口にしている「鹿野」という地名……実はこの地名にも、隠されたたくさんエピソードがあるんです。くちコミを読まれていらっしゃる方からのリクエストもあり、この「鹿野」という地名がどうして名づけられたのかについて調べてみました！

鹿野、という名前の由来には、大まかに言うと「神説」「仏説」の2説があったんですよ。

元々、この場所は「賀野」と呼ばれていたそうなんです。古書によれば、大向^{おおむかい}に鎮座する神様が鹿野の方を指して「かの地^{かのち}」を守らん」と述べたことから、「かの地 鹿野」となったのだとか。

大向^{ふたまた}の「二俣神社」です。どうやらこの神様が「かの地を守らん」と言われたようですね！



神説

もう一つの説は、仏教からです。お釈迦様が悟りを開かれた後、説法を始めたのですが、最初は誰もその説法を聞かなかったそうです。そこで鹿などを集め説法した場所が、インドの「サルナート」と言われています。このサルナートを漢訳すると「鹿野苑^{ろくやおん}」と言うんです。

この鹿野は、その鹿野苑に似たような景色であることから、「鹿野」と呼ばれるようになったのだとか。

仏説




江戸時代はじめの検地帳を見ても、地名は「鹿野」ではなく「賀野」でした。それから少し時代が下って、270年前の記録になると、「鹿野」の名前があるんですよ。

その他、漢陽寺から観音山へと移されたこの釣鐘にも「鹿野」の地名が見て取れます。

釣鐘自体は昭和に造られたものですが、刻まれた文章の原文は1455年（ちなみに漢陽寺の創建は1374年です）のもの……そうなると検地帳の記録とは食い違いが出てきます。紹介した説以外にも、知られざる説があるのかも！？

諸説あるにせよ、「鹿野」という地名は、とても由緒正しい、素晴らしい歴史の上に成り立っ

ているんだな、と感じました！



これが金松地区にある「金松桜」
です！ 幹周りは約2.5m、樹
高はなんと30m。県内最大級
のヤマザクラなんですよ。

2年前に市の観光協会鹿野支部の
皆様の手によって周囲が整備さ
れ、ついに日の目を見ることにな
りました。

この桜の大きさには、思わず感
動してしまいますね！ なんと、
この人型が大人の実寸大なんですよ。

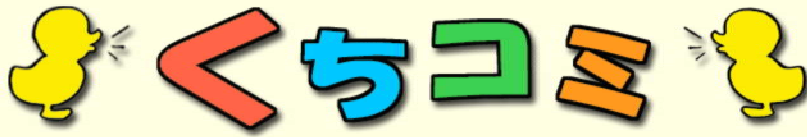
金松桜
きんしょうぎくら

町づくり応援団"えーる"
で検索しても出てきます！

～くちコミ 第15号～（平成22年4月30日発行）
発行者：町づくり応援団"えーる"
URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html



住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー



第16号(平成22年5月31日発行)

雨模様を吹き飛ばせ! ~元気な鹿野を紹介します~

こんな元気を紹介します!

自転車に乗って西東…… ~77歳の"好奇心" 佐藤耕司さん~

ひと・もの探訪 ~"なんとなく"の素敵 農家レストラン"金峰の郷"

少しずつ雨の日が増えてきて、何かとすごしにくい季節が近づいてきました。
そんな毎日ですが、今号ではそんな雨を吹き飛ばすような情熱を持った方を紹介したいと思います!

以前も特集で取り上げた^{みたけ}金峰地区に新しくできた農家レストランや、ご高齢もなんのその、自転車をこいで日本の北から南までを走る方……思わず「すごい」と思ってしまうような方々を、今号もご覧ください。

今回の取材を通して、始めたきっかけは些細な、誰でも思うようなことであっても、それを続けていくことの大変さ、素晴らしさを感じることができました。

毎回取材をしながら感じるのですが、取材をしながら皆さんの"元気"を少しずつ分けてもらっているような気がします。

皆さんの元気に触れると、自分ももっとがんばりたい、そう思えてきますね。

そんな元気をお伝えすることで、少しでも皆さんに元気をあげられるよう、「くちコミ」もがんばっていこうと思います!

このイラストは、ペンネーム"あんきち2号"さんに描いていただきました! 素敵です



自転車に乗って、西東……

～77歳の“好奇心” 佐藤耕司さん～

自転車に乗って、日本のあちこちに行かれている人がある……。そう聞いて、さっそくその方を訪ねてみることにしました！ 右の写真の方、

さとう こうじ

佐藤耕司さんがまさにその人。なんと、今年で

77歳になられるんですよ！ どうして日本を自転車でツーリングするようになったのでしょうか、お聞きしてみました。

佐藤さんが自転車に触れ始めたきっかけは、お仕事をされている時に会社の方からスケートのお誘いがあったことなのだそうです。スケートと自転車？ と思われるかもしれませんが、夏、スケートができない時期には自転車で鍛錬をするんだそうです。ですが、同じ場所を回っていたのではおもしろくない……。ということで、少しずつ遠くへ、遠くへと走っていたんですって。それから時がたち、テレビでメタボリックシンドロームの特集をしていたのを見て、自分の体がちょっと危険信号な事を知った佐藤さんは、再び自転車に乗り始めたのだそうです。



何ヶ月とやり始めるうちに少しずつ体も正常値に近づいていったわけですが、その後も自転車に乗ることは続けられているんですよ。七十代後半となった今でも、天気の良い日は片道15kmもの道のりを自転車で進んでいるそうです。

そんな佐藤さんに聞いたツーリングの魅力を一言で言うと「好奇心」なのかな、と思いました。自転車で知らない土地へ行って、その土地の方言に触れたり、峠を越えていけばその高さが知りたくなったり、同じようにツーリングをされている方とちょっとした交流があったり……。走れば走るほど、知らないこと、知りたいことがどんどん増えて、それを知りたいからまた新しい旅に出る、そうした“知りたい！”という気持ちが起きてくるのが、このツーリングなのだそうです。佐藤さんの家に掛けられていた白地図には、北は北海道、南は鹿児島まで、びっしりと赤い線が書き込まれていました。この赤い線の取っている場所を、ずっと自転車で回ってきたのだそうです。

今年も、青森・十和田市から岩手の遠野を通して、国道の基点があるという日本橋を目指して出発されるのだそうです。約1000kmもの道のりを走られるんですよ。

好奇心を満たすために旅に出る……。なんだか、とても素敵な感じがしますね！

ひと・もの探訪

～“なんとなく”の素敵 農家レストラン“金峰の郷”～

以前から何度か取材で訪れている金峰に、なんと農家レストランができたんですよ。

このお店“^{みたけ さと}金峰の郷”を運営されていらっしゃる

のは、^{ふじながし ずえ}藤永静恵さんという方なんです。

この場所でレストランを開かれているのはどうしてなのでしょう？ さっそくお話を聞かせていただきました！



「吉野の桜を育てている金峰ですが、地元の人はいなくなってきているのに、桜はどんどん育ってきているんです。桜の他にも、エビネラン、アヤメ、アジサイなどたくさんのいいものが金峰にはあるんです。それを見に来てくれた方が、ちょっとコーヒーを飲んだり、トイ

レ休憩する場所があればいいな、と思いました。それで知人である^{たかみつみのる}高光 稔さんのお宅をお借りして、農家レストランをしてみようと思ったんですよ」

お客さんは、地元の人やお友達、観光客など色々な方がいらっしゃるのだそうです。

近所の人々がちょっとした雑談をするような「場」になればいいなと思っていらっしゃるそうです。お金を儲けるため、というよりも、色々な人が交流して、お互いに声を掛け合えるような昔ながらの交流ができる場所にできたらいいな、と思い、このお店を始められたんですって。昔は散髪屋さんの軒先に将棋盤を出して、それを皆で囲むようなシーンも見られたんだそうです。そうした、“なんとなく”集まって話して、解散していくようなのんびりした空気ができればいいね、とおっしゃられていました。



こちらがレストランで出していただいた御膳です。どの料理も、**金峰や周南市内で取れた物を使って作っている**んだそうです。いわゆる地産地消、というやつですね！

定食の蓋に記してあるこの紋章は、^{きもだか}“**沢瀉**”と呼ばれるものです。毛利家が戦をしに行くとき、この草にトンボが止まっているのを見た後に戦に勝ったことから、以後、家紋として使うようになったという逸話が残っているんですよ。



金峰という地域には古くからの歴史もあり、そうした古きよきものを、地域の皆さんがずっと守り育ててきました。植物の他にも、^{すげぞう}菅蔵地域にはこの金峰を作った方の墓でもある石塔群があったり、初めて吉野の桜が植えられた^{ごんげんいわ}権現巖、すでに廃校となってしまう金峰小学校の跡地を利用して作られた交流の場である"^き柿の里"など、たくさんの「金峰の人が作ってきたもの」が残っているんですよ。
食事と一緒に、こうした金峰の歴史に触れてみるのも、楽しそうですね！



^{おおむかい} 大向 ^{ふたまた} 二俣

大向の二俣神社そばのT字路を金峰側にずっと行くと、権現巖への登山口にたどり着きます。その入り口側から下へ降りた所にお店がありますよ！

途中、かなり道が狭い場所がありますから、車で行くときはお気をつけて……。

農家レストラン 金峰の郷

住所：周南市金峰4931

定休日：水・木

電話番号：0834-68-4700

金子みすゞの心を聴きにきませんか？

^{やまさきよしゆき}

様々な団体や学校の校歌を作曲された山崎凱千さん、小学校の読書ボランティアなどを

^{やまさき きくこ}

されている山崎喜久子さんのお二人をお招きし、金子みすゞさんの詩などをピアノ・フルートの演奏に乗せて講演される催しが行われます。

金子さんの詩といえば、3月21日に鹿野にいらっしゃったちひろさんのコンサートが記憶に新しいところかと思います。6月も、金子さんの世界を音楽で体験してみませんか？

会場：鹿野公民館 2 階講堂

日時：6月4日（金）14：40～

入場は無料です！

町づくり応援団"えーる"
で検索しても出てきます！

～くちコミ 第16号～（平成22年5月31日発行）

発行者：町づくり応援団"えーる"

URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html



住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー



第17号(平成22年6月23日発行)

もう梅雨入りですね！ 傘が手放せなかったり、足元がぬかるんだりとすごしにくい季節ですが、この時期をこえれば、カラッとした夏がやってきそうです。

さてさて、今回のくちコミでは、そんな6月のゆううつに負けない元気をお届けしようと思います。

鹿野は6月も、色々なイベントがめじろ押しなんですよ。

おなじみ劇団「わ」の公演、漢陽寺で行われる琴の演奏……そして、コアプラザかのに現れる路上詩人！？

今月もたくさんの元気が鹿野に集まってきそうな予感がします。

雨に負けない"元気"を、皆さんも見に行きませんか？

“絵地図を片手に街を歩こう”



そんな6月にさきがけ、5月30日には、観光ボランティアガイドさんが企画した「絵地図を片手に街を歩こう」です！

コアプラザかのをスタートして、鹿野の古い絵地図を片手に町を歩いてみよう、という企画には、約40人の方が参加されました。

たくさんの人たちに、鹿野を知ってもらえたんじゃないかなと思います！

劇団わ

毎年恒例の劇団「わ」公演が今年もやってきました！

早いもので今回で9回目、今回はどんな演劇が見られるのでしょうか？

"笑いあり、涙ありの人情喜劇"がウリである劇団「わ」の今公演タイトルは「はぐれ鳥」。

大酒飲みの父親が、とある事件をきっかけに家を出て行ってしまい.....というストーリーで展開していきます。

今回は、あっと驚くラストシーンがあなたをお待ちしていますよ！ 是非、足を運んでみてくださいね。

当日は、長野山生改連の皆様によるお寿司・かしわもちの販売も予定されています。ちょっとおなかがすいていても、大丈夫ですね！

おなかいっぱいで、劇をお楽しみください

今回も場所は鹿野公民館 2 階となっています！

入場は**無料**ですので、皆様お気軽にどうぞ

また、6月24日(木)には、漢陽寺さんの書院にて、琴の一流派である筑紫流の方々による演奏会が開かれます！

この筑紫流、初代の方はなんと鹿野の生まれなのとか。

この演奏会を通して、新しい琴の演奏家が鹿野から出てきたりして！？

時間など、詳細につきましては漢陽寺

(0 8 3 4 - 6 8 - 2 0 1 0)

にお問合せください

笑いあり 涙ありの 人情喜劇
～やまなみ人情シリーズ～

第9回 公演

入場料無料

は
ぐ
れ
鳥

平成21年度 周南市文化振興賞受賞

劇団「わ」

日時：2010年6月26日(土)
場所：鹿野公民館 2階講堂
開場：18時30分 開演：19時00分

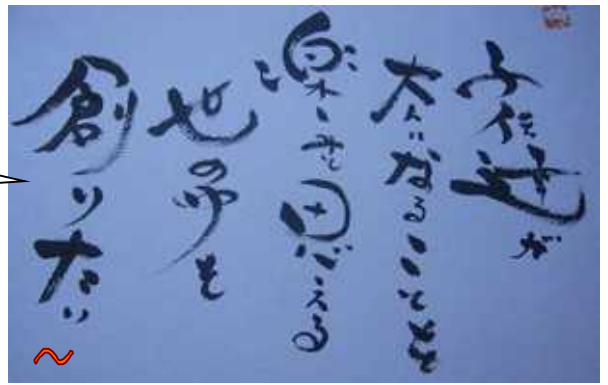
■作：坂本良夫
■演出：亀谷三千代
■演技指導：高橋聖子

お問い合わせ先：事務局 / 洞崎伸治 電話番号&FAX/0834-68-2725 MAIL/shaft@maroon.plala.or.jp



奥芝洋介 トークライブ

～ 子供達が大人になることを
楽しみと思える世の中を創りたい ～



6月の終わりの日曜日、遠く北海道から路上で詩を書いている詩人、^{おくしばようすけ}奥芝洋介さんが鹿野で講演会を開かれるんですよ。

なぜ彼は詩を書くようになったのでしょうか？ その理由を独占インタビューしてみました！

僕が詩を書き始めたのは、"師匠"との出逢いがキッカケだと思います。

今、子ども達の多くが、その夢で食べていけるかどうかで夢を判断しています。でも、それは少し違うと思うんです。夢が叶った時に多くの人の笑顔がイメージできれば、どんなことでも仕事になるし楽しめると思うんです。

自分がほんとにやりたいことに挑戦してもらいたい……そう一人でも思ってもらえれば嬉しいと思って、路上詩人を始めました。



最初、活動を始めたときは人ごみの中にポツンと一人でした。誰が見てくれる訳でもなく、酔っ払った人に指をさされ笑われたこともあります。

でも信じて続ける事で、今ではたまに人だかりができるようになりました。人の心を元気にしたり安心させる仕事のはずが、実際は逆に元気をもらう事が多いんですよ。

先日も、小さな男の子が50円玉一枚を持って来てお母さんにプレゼントしたいから書いてって言ってくれました。人生をもう一度頑張ってみるよって泣きながら倒産した会社の社長さんが言ってくれたことも忘れられません。

これからも、この活動を続けていきたいと思います。



こうした活動の他、書道をたしなんでおられたり、ラジオで番組を持って俳句コーナーなどを持っていたりするんです！

そんな奥芝さんの本業は、「奥芝商店」というスープカレー屋さん。2008年度には、北海道グルメオブザイヤーという賞をいただいたという、とてもおいしいカレーなんですよ！

?? 藤本さんに聞きました ??

実は今回鹿野にいらっしゃる奥芝さんの妹さん・藤本かよさんは鹿野に嫁いで来ていらっしゃっているんですよ！

今回トークライブもあるということで、お兄さんについて色々話していただきました。



兄は明るい、のんびりした鈍行列車のような人なんです。のんびりしてても必ず駅には着くような感じかな。色々な詩を書いていて、すごいなと思います。詩を見て勇気をもらえた、っていう人もいますよ。

兄はいろいろな大変なことを経験してきて、その経験を伝えられたらいいな、と思い路上詩人を始めたんですよ。

27日の講演会も、とても楽しみにしています！

カレーへのこだわりもすごいんです。野菜を求めて、軽トラでいろいろな場所に行ったりして。仕入れで動いた先で、またいろいろな出会いがあったりもします。150kmぐらいの道のりを走ったりもするんですよ。

兄のカレーは、コクが違うんですよ。お店のスープカレーには、エビスープとトマトベースのカレーがあります。私はトマトの方が好きですね（笑）。

奥芝洋介トークライブ ～子供達が大人になることを楽しみと思える世の中を創りたい～
は、

6月27日（日）コアプラザかの2F（大会議室）

にて行われます！

皆さんも、是非足を運んでみてくださいね

町づくり応援団"えーる"
で検索しても出てきます！

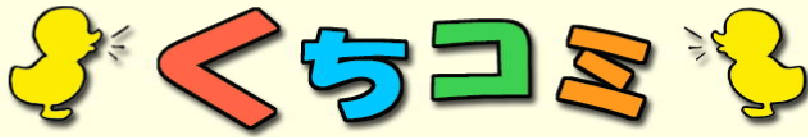
～くちコミ 第17号～（平成22年6月23日発行）

発行者：町づくり応援団"えーる"

URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html



住民の 住民による 住民のためのロコミ情報ペーパー



第18号(平成22年7月28日発行)

日韓交流 - 渋川にて -

もうすっかり夏本番ですね！ 毎日、汗が流れるような暑い日が続いていますが、皆さんはお元気ですごされていますか？

さて、7月1日に、国境を越えて**お隣の韓国**から視察団の方がやってきました！

渋川について、文化や景観、農業などを通じてお互いの抱える共通課題について話し合おう、という目的で、渋川地区の皆さんと韓国視察団の方との交流があったんですよ。

また、漢陽寺や潮音洞、二所山田神社などなど.....**渋川地区だけではなく、鹿野地区の色々な場所の視察も行われたん**ですよ。

まさに、鹿野が**日本の代表として目に触れた**.....なんてことになりますね！



渋川の皆さんは、夜に韓国の皆さんとお酒を飲む機会があったんです。

韓国の方は気分が盛り上がると、踊ったり歌ったり、とてもにぎやかなんですって。そして、盛り上がるのはごく一部の人だけというわけではなくて、他のみんなも一緒になって参加するんです。

一人だけ騒ぐわけではなく、みんなでその場の雰囲気盛り上げ、楽しめる.....そんな様子がとても素敵だったと言われていました。

神社をきれいに！

～ 網代保存会清掃作業 ～

7月の鹿野といえば毎年30日に行われる"天神祭"。その天神祭に参加する網代保存会あじろの皆様が、二所山田神社や清流通りの清掃作業をされたんですよ。

わたしも4日に行われた作業に参加させていただき、一緒に汗を流してまいりました！

神社の境内から竹箒やらがんぜきを使いながら、清流通りまでをせっせと掃除していきます。普段慣れないことをしたもので、筋肉痛になってしまいましたが、心はすっきりした一日でした。

30日の天神祭は、これまでとは違った気持ちで迎えられそうです。



掃除の様子です。たくさん子どもさんや若い人が集まって、皆でせっせと掃除して이었습니다。

こうした様子を見ていると、まだまだ鹿野にも若い力がたくさんあるんだなあ、としみじみ。こうしたつながりが、今後とも続くといいなと思います！



掃除の後、参道にずらっと竹灯籠を並べました！

明かりがついたら、とてもきれいだろうなと思います



実はこの清掃活動、今年が初めての試みになるんですよ。

だけど、こうした試みはとても素敵なものだと思います！ 普段はなにげなく通り過ぎている神社ですが、みんなで掃除することで色々な交流が生まれる、ただ掃除をした、というだけではない何かがあるような気がしました。

来年はもっとたくさんの人が加わるといいですね

名園めぐり

～ 重森三玲の庭園鑑賞 ～



表の記事はどちらも7月4日、つまり7月のはじめに行われたものでした。それで7月が終わりなんてことはありません。7月31日には、漢陽寺の庭園を作られた重森三玲しげもり みれいさんの孫・重森千青ちさをさんをお招きして、庭園の講義・解説が行われるんですよ。

左の写真の"曲水きよくすいの庭"がその代表ですが、実はとっても特殊な庭なんです。普通は禅寺の庭というと、水を通さない枯山水。もちろんこの庭にも枯山水の様式は使われているんですが、水を通し、木やコケを植えたこの庭の様子は前代未聞、と紹介されているんですよ。

きっとこの場所を見られた三玲さんが、漢陽寺

の後ろを通る潮音洞ちょうおんどうの様子に感じ入って、その水を通そうとされたのかな？なんて想像したりしました。

日本全国を見ても他にないようなものが、実はこの鹿野にあったりするんですよ。

重森三玲って？

さて、何度も名前の出てくる重森三玲さんとはどんな方なんでしょうか？

重森さんは岡山県に生まれ、当初は画家を目指して上京したものの、しだいに日本庭園の魅力にとりつかれ、作庭家として有名になっていきました。

漢陽寺だけではなく、日本の様々なお寺や神社の庭を造られたことで有名で、実際に庭を作る以外にも、日本の庭園の歴史を調査されるなど、研究家としても様々な実績を残されていらっしゃる方なんですよ。

三玲さんの造られた庭は石や砂を使って水の様子を表した「枯山水」という様式なのが特徴です。

散歩がてら、漢陽寺の庭園を見に行ってもいいかもしれませんね！



こちらは"瀟湘八景しょうそうはっけい"という庭です。他の庭と違ったモダンな感じがいいですね

マーチングバンドがやってくる！

ずらり並んだ、大洗高校マーチングバンド部「BLUE-HAWKS」の皆さんです！ 総勢 75 名の、一糸乱れぬ素晴らしい演奏を是非ご覧になってくださいね



7月が終わってすぐ、8月6日（金）には遠く茨城県の高校である、大洗高校マーチングバンド部「BLUE-HAWKS」の演奏会が開かれます！

スクールカラーの「青」、鋭い動きのイメージとして「鷹」から名づけられたこのチームは、全国大会で最優秀賞や金賞をいただくだけでなく、オーストラリアやマレーシア、シンガポールなどへ遠征をしている実力派なんですよ。

それだけの実力を持つまでに、とてもたくさんの練習を積んできたんだらうな と思うと、思わず「がんばれ！」と声をかけたくってしまいます。

渋川出身の有國浄光さんがご指導されている縁もあり、鹿野にやってくるのは今回で3回目。

たくさんのファンがいるその演奏を、じっくりとお聴きください

ちなみに同日の10:00、日本を代表する二大帆船「日本丸」「海王丸」が徳山港に同時来航する際にも演奏を行います！

徳山までご用事がある方は、是非そちらもご覧ください

ごあんない

日時：8月6日（金） 14:00～

（開場 13:30）

会場：鹿野総合体育館

お問合せ：0834 - 68 - 2094

（明るく元気な鹿野をつくる会事務局）

入場料はなんと無料です！

暑い夏に、さわやかな音楽を楽しんでみませんか？

町づくり応援団「えーる」
で検索しても出てきます！

～くちコミ 第18号～（平成22年7月28日発行）

発行者：町づくり応援団「えーる」

URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html



住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー



第19号(平成22年8月19日発行)

ひと・もの探訪

お盆もすぎましたが、まだまだ暑い日が続きますね！ 今回のくちコミでは、8月から9月にかけてのイベントをご紹介します。と思います。

皆さんは、鹿野の町中、活鮮ストアさんのそばにうどん屋さんが開店しているのをご存知ですか？

この手打ちうどん屋「はなどり」のご店主は龍^{りゅう} 翔^{しょう}介^{すけ}さん。天ぷらを徳山の店で修行し、手打ちうどんに関してはなんと独学で学び、このお店を開かれたんですよ。

どうして鹿野にお店を？
と思って聞いてみました。

「鹿野にいと、外食をするにも徳山まで出ないといけません。鹿野の町中で、外食をする場所を作りたいだったので」

.....なるほど確かに、足を運びやすい場所にあるこのお店には、わたしもよく通ってまいります。

一度うどんを食べてみてください。やみつきになりそうなおいしさですよ！



営業時間：

昼 11:20 ~ 14:00

夜 15:00 ~ 21:00

定休日：

水曜日

連絡先：

0834-68-0232

場所：

活鮮ストアそば

予約・貸切なども受け付けています！

21日は活鮮ストアへ行こう!

さて、左のページで紹介したはなどりさんと面しているスーパー・活鮮ストア。

その駐車場を会場にして、8月21日(土)にちょっとしたイベントが開かれます!

"夏休み子どもまつり"と題したこのイベントは、活鮮ストアの社長・澤田^{さわだ}さんとはなどりさんが「鹿野を盛り上げ、活性化するために」考えたイベントなんですよ。

なんといっても、イベント一番の目玉はこちら、BMXのショーだと思います。

自転車ごと飛び上がったたりとか、前輪を浮かしたまま走り続けるという基本的なものから、右の写真のようにハーフパイプという構造物からジャンプしたりする大技まで色々あるんですよ。

この周南市内でも、こうしてBMXに参加されている方はたくさんいらっしゃるみたいです!



BMXショーは
18:00
~ 18:30に
行われます!

夏休み子どもまつり

主催：上野自治会（活鮮ストア・はなどり）

日時：8月21日(土) 午後5時 ~ 8時

場所：活鮮ストア駐車場

会場では、右で紹介しているBMXショーの他にも、焼きそばやかき氷、ジュースなどの飲食物、お菓子つかみ取りや金魚すくいなど、たくさんの催しが開かれる予定です! 19:30からは、もちまきならぬカップラーメンまきがあったりしますよ。

お買い物のついでに、ちょっと足を向けてみませんか? 小学生以下で引き換え券をお持ちの方には、一人に一個、先着100名で無料プレゼントもありますよ

BMX

って何?

BMXはアメリカ生まれ。競技用の自転車や、その自転車に乗って行う競技名を言います。

オリンピックの正式種目にも選ばれているんですよ!

この自転車に乗って、様々な技を披露するのが競技内容になります。今回のイベントステージでも、たくさんの素敵な技が見られると思います!

森の中でジャズを聴く



大潮に向かう道の途中、ひっそりと森の中に立っているのが、今回取材をさせていただいた「K & M ナチュラルコテージ」です。閑静な森の中にあるこの場所で、今回ジャズを聞こうという企画があるんですよ。

このイベントを企画されているのは、
まつなが まさこ まつうら きよこ
松永雅子・松浦清子さん姉妹。さっそく、取材に行ってみりました。

きっかけは、自然の中にある物件を探していたとき、偶然に喫茶店でその話を

聞いていた人がこのコテージを紹介してくれたことだったんです。今回のジャズイベント以前にもコンサートを開かれていて、そのときは遠くから約60人の人が集まったそうです！

お二人にこの場所の魅力をお聞きすると、「**ここにはとてもたくさんの自然がある**」ことが一番の魅力なんだと言われました。このコテージがある場所は錦川の源流近くであり、水もきれいだし、たくさんの山野草が自生しているんですよ。また、野草だけではなくキノコ類も非常に数多くあり、まさに自然の宝庫とでも言える場所なんですよ。

今回のジャズコンサートは、そんな自然豊かな森の中に世界的なジャズ奏者である中山英二さん、ピーター・マドセンさんのお二人を招いて開催されます。

鹿野の深い自然の中で、素敵な音楽に聴き入ってみませんか？

ごあんない

日時：

9月10日(金) 19:00～

会場：

K & M ナチュラルコテージ

会費：

2800円(飲み物・軽食つき)

お問い合わせ：

0835-38-8290

(「ホームアド」という会社です)

受付は9月5日(日)まで行っています！

当日はコテージ入り口に「J a z z
ライブの看板」が掲示されます。
入り口の目印にどうぞ！

喫茶 マルタ

ここです！

鹿野 I C

好評開催中！

きんさい！ 鹿野

さて、以前「くちコミ 号外」でもお伝えしましたが、現在町づくり応援団"えーる"では、大潮小学校を舞台にしたアウトレット家具販売、及び大潮小学校の歴史を紹介するイベント「きんさい！ 鹿野」を開催しています！

すでに2週目を終え、様々な声を聞くことができました。

「懐かしい母校を見られてよかった」「この小学校の卒業生ではないけれど、懐かしい気持ちになった」などなど.....。

皆さんも、夏の暑さ避けのついでに、会場である大潮小学校に足を運んでみませんか？

また、会場ではアウトレットで家具製品などの販売を行っています。

ちょっとした傷があったり、部品が足りなかったために市場に出せなかった、いわゆる"わけあり品"を格安で販売していたりもします。

ちょっと買い換えたい家具があったりするときも、是非足を運んでみてくださいね

この看板が会場の
目印です！



日時：8月各金・土・日 9：00～16：00

場所：旧大潮小学校

内容：家具等販売、大潮小学校の歴史紹介

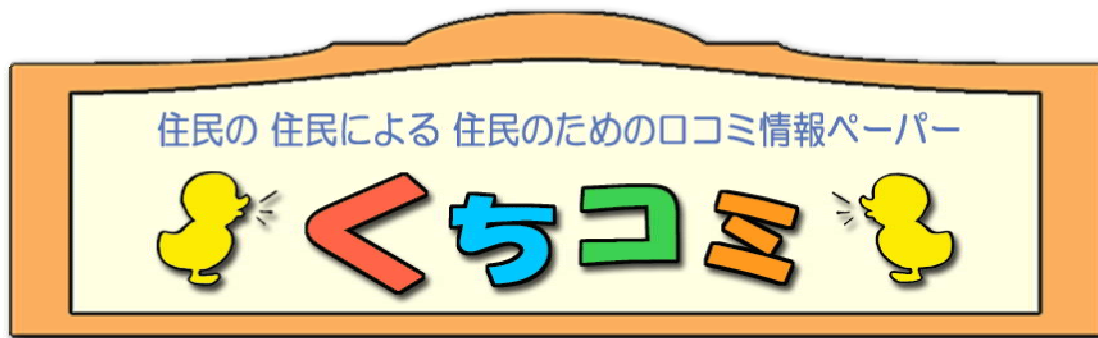
町づくり応援団"えーる"
で検索しても出てきます！

～くちコミ 第19号～（平成22年8月19日発行）

発行者：町づくり応援団"えーる"

URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html





第20号(平成22年9月30日発行)

秋祭りは……何月だったけ？

ここ最近で、めっきり冷え込んできましたね！ 10月まで猛暑が続く、などとも言われていましたが、すっかり秋めいてきたように思います。

さて、秋といえばお米の収穫時期。田んぼをお持ちの方は、刈り入れにいそしんでいらっしゃるのではないかと思います。

そういえば、田んぼを刈った後には「収穫祭」、いわゆる秋祭りがあるわけですが、これは10月ではなく11月に行われるんですよ。

9月に刈り入れるのに、どうして11月なのだろう……そう思って調べてみることにしました。

どうやら、昭和40年頃までは10月に刈り入れをしていたらしいですね！

10月に収穫し、あわただしく冬じたくを行い、そうした作業がすべて終わってから、秋祭りを行っていた……そうであれば、11月に秋祭りがあるのも納得できます。

今回の「くちコミ」では、ちょっと早めの「秋祭り」特集をしていきますよ

わたしの家の前の田んぼも、すっかり刈り入れが終わっています。

昔だったら、あと1ヶ月先にこの風景を見ることになるんだな、と思うと、時代が変わっていることを感じてしまいました。

また、かつては米を収穫した後、麦を植えていたそうです。田んぼはこれからの季節も休まず使い続けられていたんですね！



秋祭り開催コース♪

7日：三所神社（奥大町）

まずは"坂根さかねの権現様"三所神社が秋祭りの始まりです。
この神様の使いは牛で、冬に行われる"申し"の後に牛馬のためのお守りを配るんですよ。

8日：二所山田神社（大地庵）



続いて8日は二所山田神社です。ちなみに7月30日に行う"天神祭"は二所山田神社の摂社（ある神社の管理下にある小さな神社）である菅原神社のお祭りなんですよ。

9日：三嶋神社（今井）



9日は今井の三嶋神社です。氏子がたくさんいる二所山田神社とこの三嶋神社がお祭りの2日間は、午後から学校が休みになっていたそうです！
学校が休みになるほどのお祭りなんて、すごいですね！

10日：貴布祢神社（大地庵）

鹿野は秋祭りが連続して途切れなく行われることから、「この時期は食いはぐれがない」とまで言われていたそうです。

お祭りがあるとたくさんのごちそうが振るまわれるので、"お祭りのハシゴ"をしてそのごちそうを食べ歩いていた人もいたそうなんですよ！

11日：多賀神社（大潮）

お祭りの屋台を出す、いわゆるてき屋さんもこの時期には鹿野の宿に泊り込み、あちこちで行われるお祭りに参加し続けていたそうです。

12日：宝作出雲神社（下渋川）

これから雪が降り、寒くなる時期にこうして町中が盛り上がるイベントが続くというのはとても面白いことだと思います。

13日：河内佐賀居神社（上渋川）

これらのお祭りはもちろん今も行われています。こうしたお祭りが、町全体が盛り上がるようなイベントになっていけば、寒い秋の終わりも、もっと楽しく温かくすごすことができるようになるかな？ なんて思いました。

14日：客山祇河内神社（中渋川）

15日：合ノ川河内神社（合ノ川）

目がよくなる!?! ~目観音~

下渋川の石船温泉からさらに奥へ向かうと見えてくる、通称「目観音」と呼ばれている観音様があります。なぜこんな名前がついているかというと、ここに歳の数だけ「め」の文字を書いて願かけをすると、目の病気が治るという言い伝えがあるんですよ。

これがその「目観音」様のお堂です。温泉から長野山方面へ車で2～3分の辺りにありますよ。

昔は、もっと川の側にあり、お堂も人が入れるほど大きいものだったそうです。

今の場所に移った後も、高速道路ができる前は大きなお堂がある観音様でした。

現在は小ぢんまりとしたたたずまいですが、昔のお堂はすごかったんだと思います！



"目を悪うしてしもうたら、半紙に「め（目、メ）」という文字を歳の数だけ書いて、男か女か、何歳かを書いて目観音様にお供えすりゃあええ"

"お礼参りのときにゃあ、小豆を歳の数だけ供えんさい。下がりは、^{ごんち}権地橋から川に流しておきんさい"

という話があります。

目観音様のご利益は非常に古くから人々に知られていて、遠くからも足を運ぶ人がいたのだとか。

長野山に行く道の途中にある小さなお堂ですが、見かけたら是非手を合わせてみてくださいね。



実際にお堂に貼られていた「め」の書かれた紙です。

今でもこうして、願掛けに訪れる人がいるんですね！
実はこの写真を撮る少し前にも、お堂の前に車が止まっていたんです。

それだけこの目観様が広く知られ、頼りにされている証拠だと思います。

わたしも目が悪いので、願掛けしてみようかな？

名前がちょっとだけ出てきた"権地橋"はこちら。石船温泉の前にある橋になります。

きれいな清流が流れているので、何もなくても来てみたくなる素敵な場所ですよ！

目観様にお参りして病気が治ったら、是非ここから小豆を流してみてくださいね。



今回はこうしてお祭りや観音様について色々追って行きました。

鹿野の中には、こうしたたくさんの伝統が息づいているんだな、ということを改めて感じることができたように思います。

今をより良くしていくことはもちろんですが、時にはこうして昔を振り返り、なくしてはならない伝統を思い出すことも大切なことだな、と思います。

鹿野に息づくたくさんの"歴史"を、これからも大切にしていきたいですね。

町づくり応援団"えーる"
で検索しても出てきます！

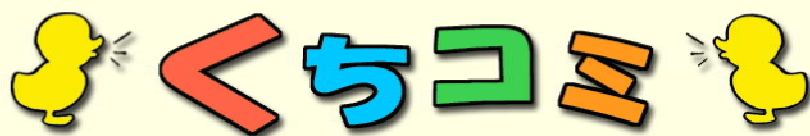
～くちコミ 第20号～（平成22年9月30日発行）

発行者：町づくり応援団"えーる"

URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html



住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー



第21号(平成22年10月21日発行)

ひと・もの探訪



今月のくちコミでは、^{みたけ}金峰に新しくできた農家民宿"きずなの宿"を紹介します！
くちコミ16号でも、同じく金峰地区のレストランを紹介いたしましたが、今度は民宿なんですよ。さてさて、この民宿、どんな場所なんでしょうか……。

三浦さんに聞く「農家民宿」

さて、なぜこの金峰で民宿をしようと思ったのでしょうか？
"きずなの宿"の経営者である三浦さんご夫妻にお話をうかがってまいりました。

三浦さんいわく、一番の思いは「**自然の大切さを感じてほしい**」ということでした。

その大切さをついつい忘れてしまう自然ですが、その良さを是非感じてほしいから、この民宿を始めようと考えられたそうです。

宿で出す料理も、自然の恵みとでも言うべき山菜だったり、川魚だったり。田舎料理を基本に、この鹿野の中で集められるものをお出ししていきたい、と三浦さんはおっしゃられていました。

周りは深い森、宿の前には小川が流れて、夜になれば空にきれいな星が見える……そんな大自然を満喫できる、素敵な場所だと思います。

また、この建物の外装には、数年前に廃校となってしまった**金峰小学校の廃材**を利用しているそうです。

地域の小学校の一部が、今はこうして民宿として生まれ変わっているんですよ。まさに地域密着！ な民宿なんですね

みなさんもこの宿で、色々なものとの"きずな"を感じてみませんか？



鹿野山村広場そばの県道9号線から合ノ川へ向かい、さらに金峰方面に真っ直ぐ走るとこういう場所に到着します。右の看板の下に見える建物が民宿ですよ！

ごあんない

料金：

1泊(2食つき)¥6,000
(小・中学生は¥4,000)

連絡先：

0834-68-4217

*準備の都合があるため、ご予約は2日前までにどうぞ！



神社の境内で、コンサート！

さて、今週末に、渋川地区にある「宝作神社」にて、奉納コンサートが開催されます！
すでにシティーケーブル周南さんでもイベント告知がされていますし、ご存知の方もいるかもしれませんね。

このイベントは、8月にコアプラザかので開かれた「中山間地域活性化フォーラム」という催しで出演された^{もうりじろう}毛利治郎さんをお招きして、神社の境内を舞台にミニコンサートを行おう、という企画です。

鹿野をととても気に入られた毛利さんが、渋川の方と一緒に鹿野の中を見て回り、イベントを開催しよう……という話がまとまって、開催が決定したんですよ。

毛利さんは、老人福祉施設や病院内でもコンサートを開かれていらっしゃいます。

また、田舎にもとても興味を持たれ、ご自身も田舎に暮らしながら、今回のように様々な場所に行かれ、その歌声を披露されていらっしゃいます。

毛利さんの歌はどれもとても素敵な、心が癒される音楽ばかりです。

この機会に、その歌に聞き入ってみませんか？



会場の宝作神社は、こじんまりとした小さな神社。鎮守の森に囲まれた中に建つ、この社の前で、コンサートが行われるんですよ。

当日は駐車場の関係もあるので、余裕を持ってお越しいただければと思います。

神社の境内は、演芸の場？

神社を舞台にコンサートを開こう、そう思われたきっかけを実行委員会の方にお聞きいたしました。

昔であれば、神社の境内では神楽であるとか、収穫祭が行われていました。ですが、それだけではなく、**地域の演芸を披露する場としても、境内は活躍していたんですよ。**

そうした昔の演芸をそのまま再現することは難しいかもしれないけれど、コンサートのような催しを行うことで、少しでもそうした昔の雰囲気復活させたい……そういう思いがあって、今回のコンサートの開催を決められたんですよ。

鹿野の街中にある^{に しょうまだ}二所山田神社でも、以前は一人芝居などを行い、神社を盛り立てていたことがあったそうです。

神社とコンサート、ちょっと不思議な組み合わせに思えるかもしれませんが、このイベントにはそんな思いがあるんですね。

宝作神社コンサート - 山里唄い人 -

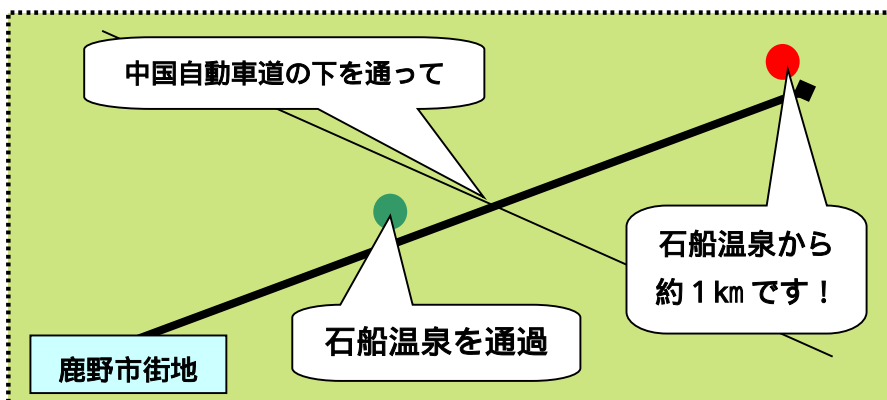
日時：10月24日（日） 午後2：00開演

入場料：無料

お問合せ先：農家レストラン たぬき（0834-68-3818）

鹿野ファミリーランド（0834-68-3271）

場所：宝作出雲神社境内



12月には、宝くじの祈願祭も予定されています。
年末の宝くじの当選祈願に、是非お越しください



町づくり応援団"えーる"
で検索しても出てきます！

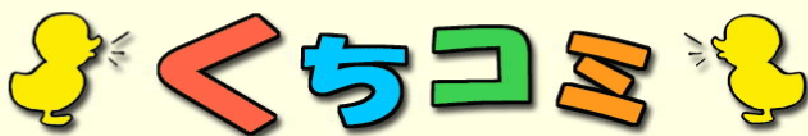
～くちコミ 第21号～（平成22年10月21日発行）

発行者：町づくり応援団"えーる"

URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html



住民の 住民による 住民のためのロコミ情報ペーパー



第22号(平成22年11月21日発行)

紅葉狩りの季節です♪

もうそろそろ雪！？ というぐらいに冷え込みが厳しいですね。

風邪など引かれず、皆様はお元気でしょうか。

さて、この季節には色々な楽しみがありますが、冬が近づく頃になると紅葉がとてもきれいになりますね。

山を見ても、緑色が少なくなってたくさんの彩りがそえられているように思います。

この時期は紅葉狩りで目を楽ませることができそうですが、そういえばどうして紅葉「狩り」というのでしょうか。

どうやらこの「狩り」という意味には「草花を眺める」という意味があるそうなんです。紅葉狩りとは、紅葉を眺める、という意味で名づけられた呼び方なんです。

右のページでは色々な見所を紹介していますが、**鹿野は山を見ればどこもきれいに紅葉しています。**

自分だけのお気に入りの場所が、皆さんの近くにもあるかもしれませんね！



清流通りの水車小屋の後ろにも紅葉が見えます。

背景の緑、手前の水車小屋の風景に紅色が映えてきれいですね。

清流通りには、他にもたくさん見所がありますよ。

散歩がてらに、足を運んでみてくださいね。

大潮周辺



とある道端で撮った写真です。
大潮はこうしたきれいな紅葉があち
らこちらで見られます。
ちょっとドライブしただけでも、た
くさんの紅葉した山々を見ることがで
きるんですよ。

紅葉だけでなく「黄」葉もきれいで
すよ！ 実はあの有名な万葉集では、紅葉
より黄葉の方がたくさん歌に詠まれてい
るんですよ。

赤い色も目立ちますが、黄色い色もな
かなか素敵ですね。



こちらは本堂の外からの写真です。
緑と赤がきれいに映えてとても素敵
ですね！
漢陽寺にはこの他にもたくさんの紅
葉スポットがありますよ

おなじみ潮音洞も、すっかり秋ら
しい紅葉と一緒にです。

お寺の中から様々な庭と一緒に眺
める紅葉はとても素敵ですよ！



漢陽寺

”三勝写真展”、開催します！

以前、ジャズコンサートが開かれましたK & Mナチュラルコテージさんより、今度は写真展をやります！ とご連絡を受け、さっそく取材をしてまいりました。

写真を展示している、浜田「勝」敏、原田「勝」利、小川「勝」義の3人にちなんで「三勝写真展」と名づけられたこの写真展、元々は仲間内だけで開こう、というお話になっていたそうです。ですが、**せっかくの素晴らしい写真をもっとたくさんの人に見て**

ほしい、という願いから、このたびその写真を一般にも公開することになりました！

浜田さんは山、原田さんは鳥、小川さんは花を主な題材として撮影を行っています。ご興味のある方は、ちょっと足を運んでみませんか？

会場

看板

マルタ

鹿野 I C

鹿野 I C から大潮側へ向かい、喫茶マルタさんを過ぎて2～3分過ぎた辺りに看板があります。

道が細いのでご注意ください！



三勝写真展

開催場所：K & M ナチュラルコテージ

開催日時：11月20日～12月12日までの土・日曜

(土曜日は午後から、日曜日は朝から開場しています)

お問合せは、ホームアドさま(0835-38-8290)までどうぞ！

祝日の午後にいかがですか？

弾き語り 里山ミニライブin渋川

勤労感謝の日に、渋川の農家レストラン・たぬきにて、ジャズボーカリストとして活躍中の

かたおか ななえ

形岡七恵さんをお招きしてのコンサートが開かれます！

形岡さんは小さい頃からうたうことが大好きで、お父さんから音楽大学の記事を紹介され、現在の道に進まれたそうです。何度も悩みながらも音楽活動を続けてこられたのは、**ご家族の励ましがあってこそ**だと言われていました。

そんな形岡さんのうたの一つに、「平和と核兵器のない世界をめざす」うたがあります。形岡さんは高校時代から平和活動に携わってこられました。参加したフォーラムで原爆を題材にした詩を賛美歌に乗せてうたったとき、被爆者の方が「広島で亡くなった友人を思い出した」と涙を流されたそうです。

「私のうたが被爆者の心に触れることができた…」被爆者の思いをうたうことで伝えていこうというきっかけになったそうです。

当日は平和のうたの他、日々の歩みの中で生まれてきたうた、日本のうた、もちろんジャズも、様々なうたを披露されるとのことです。

祝日の午後、素敵なうたを聴きに渋川まで足を運んでみませんか？



ごあんない

とき : 11月23日(祝) 午後2～3時
ところ : 農家レストラン たぬき
入場料 : 1000円(コーヒーがついてきます！)

鹿野市街地から渋川方面へ向かい、石船温泉前を通り過ぎて道なりに約1kmお進みください！

入り口の狸の置物が目印ですよ。

予約制となりますので、0834-68-3818までご連絡をお願いします

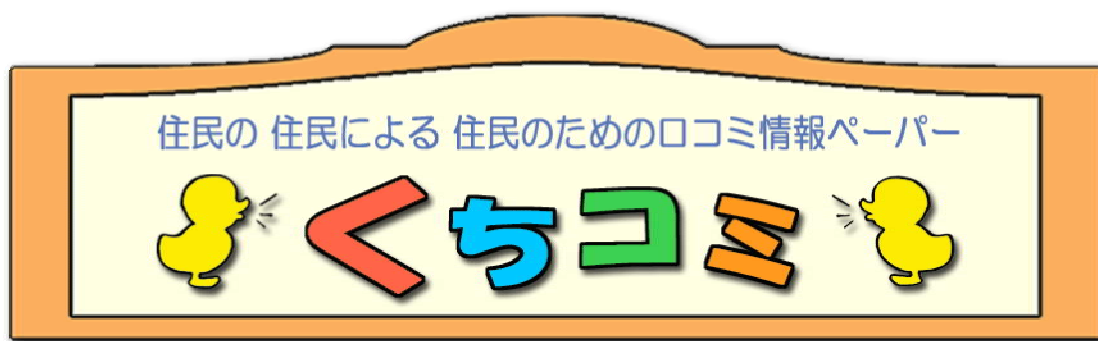
町づくり応援団"えーる"
で検索しても出てきます！

～くちコミ 第22号～(平成22年11月21日発行)

発行者：町づくり応援団"えーる"

URL : http://straynotes.net/machi_ouen.html





第23号(平成22年12月11日発行)

超世丸は今 ~くすり博物館を訪ねて~

そろそろ雨が雪に変わりそうな、冬本番といった天気の日ですね。

今年最後の「くちコミ」は、かつて岩崎家の邸宅に設置されていた「^{ちょうせいがん}超世丸」の看板の特集から始めたいと思います。

現在は、佐賀県は鳥栖にあります「久光製薬中富記念くすり博物館」という場所にあるこの看板、くすり博物館ということでピンとこられた方も多いと思いますが、超世丸とは薬の名前なんですよ。

今から230年前に創業された薬屋さんで売られていたこの超世丸、資料を見ると「下り腹の妙薬」とあるようで、ようは胃腸薬のようなものだったようです。

そして驚きなのが、この超世丸は日清・日露戦争の頃には海外に支店があったそうです！

明治・大正の頃には、鹿野に世界規模の大きなお店があったんですね。

現在は残念ながら廃業されているのですが、街中にある大きな邸宅の前を通られたときに、超世丸のことをちょっとだけ思い出していただけるとうれしいです。

町中にある岩崎家邸宅です。当然ながら今は看板はありませんが.....。

この辺りに看板がついていた様子をご覧になられていた方も多いと思います。

見上げるような大きな看板は、今どうなっているのでしょうか？

右のページで、その様子をご紹介します！



くすり博物館では……



さる11月26日、鹿野婦人会の皆様が研修で「超世丸」の看板を訪ねられています。

残念ながら仕事の都合もあり同行はできなかったわけですが、婦人会の皆様にご協力いただき、博物館の快諾を得て、特別に撮影されたものを提供していただきました！

当時の岩崎家邸宅のふかん図です。どうやら、薬の調合だけではなく薬草の栽培も行っていたようです。説明によると、看板は明治20年頃に造られたそうですよ。

これは以前、まだ鹿野に看板がある頃に撮った超世丸の看板です。
長年の風雨にさらされ、痛みが目立っているように思います。



修復され、展示されている看板です。
ライトを浴びながら鎮座する様子は、鹿野にあった頃とはまた違う輝きを放っているように思います。



看板の展示は、来年2月27日まで行われているそうです。

今回は同行できませんでしたが、是非一度看板を訪ねてみたい、そう思わせてくれる写真でした。

"ん、ん" ~七難逃げて、七福来たる?~

めっきり寒くなった12月、そういえばそろそろ冬至。例年22日か23日か、その辺りが冬至なのですが、**今年は22日**なんですね。

鹿野には^{うじさま}"氏様"と呼ばれる小さな社があって、秋が終わる頃に"氏申し"というお祭りが開かれていました。

過ぎた一年に感謝し、来年の豊作と無病息災を願う、この氏申しの当屋にあたる家が祭りの神事を執り行っていたのですが、当屋となった家は、自家の冬支度やら、申しの準備やらで、てんてこまいだったそうです！

また、冬至は"七難逃れの日"とも言われ、宮の峠にあった氏様"藤井氏様"の申しの日でもあります。

藤井氏様の当屋では、**かんてん、きんとん、なんきん、れんこん、にんじん、ぎんなん、きんかん**をお客人のお土産として渡していました。

「"ん"の二つつく食物を冬至の日に食べると、七難が流れて七つの幸運がやって来る」

という言い伝えがあって、この七つのお土産を渡すようになったんですって。

今年の冬至は是非"ん"のつく食べ物を食べて、七難を逃して七つの幸運を招き寄せましょう

二十四節気一覧

1月	小寒、大寒
2月	立春、雨水
3月	啓蟄、春分
4月	清明、穀雨
5月	立夏、小満
6月	芒種、夏至
7月	小暑、大暑
8月	立秋、処暑
9月	白露、秋分
10月	寒露、霜降
11月	立冬、小雪
12月	大雪、冬至

二十四節気とは、かつて太陰暦を使っていた頃、季節を現すために使われていた区切りです。

冬至は、この節気最後の日。
まさに、一年の締めくくりの日なんですね！

昔から、冬至の日にはカボチャや冬至がゆを食べ、ゆず湯に入ると風邪を引かずに過ごせるといわれています。

すでにカボチャやゆずを準備されている方もいらっしゃるのかな？ と思います。

寒さの厳しい季節ですが、カボチャとゆずで健康に乗り切りたいですね！



願いをこめて……宝くじ当選祈願祭

「くちコミ」21号に少し掲載いたしました、「宝くじの祈願祭が開かれますよ」という記事。あれから早くも2ヶ月がすぎて、「渋川宝くじ当選祈願奉賛会」さま主催による当選祈願祭が行われます！

皆様ご存知のとおり、この神社は祈願した宝くじが**本当に当選している**という、ご利益ばっちりの神社です。

年末といえば宝くじ。すでにお買い求めされている方も多いのではないのでしょうか。今年最後の夢の一押しに、是非宝作神社へお越しください！



ごあんない

日時 : 12月12日(日) 10:00 ~
場所 : 宝作神社(周南市鹿野渋川)
問合先 : 鹿野ファミリーランド(0834-68-3271)
農家レストランたぬき(0834-68-3818)

鹿野市街地より渋川方面へ道なりに進み、石船温泉をすぎて約1kmの場所です。

*当日は、ご購入された宝くじをご持参ください。
もしかすると、持ってきた宝くじが当選するかも！？

町づくり応援団"えーる"
で検索しても出てきます！

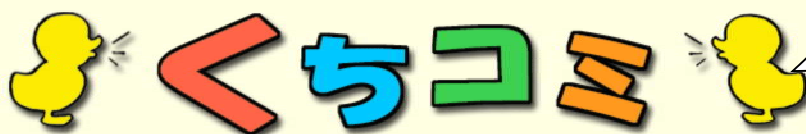
～くちコミ 第23号～(平成22年12月11日発行)

発行者：町づくり応援団"えーる"

URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html



住民の 住民による 住民のためのロコミ情報ペーパー



号外！

(平成22年3月31日発行)

明日から開催！

山代和紙と
作家たち2010

開催案内

日時：

4月1日(木)

～ 4月11日(日)

10:00～17:00

(11日のみ16:00まで)

会場：

コアプラザかの 2Fロビー

入場料：無料



主催：山代和紙と作家たち2010実行委員会

(コアプラザかの、高齢者生産活動センター、町づくり応援団"えーる")

後援：周南市・周南市教育委員会・周南文化協会・周南書道連盟・周南美術連盟

どうして“和紙”なの？

このたび、町づくり応援団“えーる”は、高齢者生産活動センター様、コアプラザかの様とともに実行委員会を組織し、鹿野に伝わる伝統工芸である「山代和紙」のPRを行うために、和紙を利用した様々な芸術作品の展覧会を開くことになりました！

でも、どうして和紙なのでしょう？

“和紙”と言うと、普段なじみがないこともあってか、どうしてもどこか特別なもの、身近でないもの、というイメージを持たれてしまいがちです。

この「山代和紙と作家たち2010」を通して、こうした和紙の一つであり、はるか昔からこの鹿野で作り続けられてきた山代和紙を、今までよりもっと身近に感じていただきたい。より、親しんでもらいたい。そう思って、このイベントを企画させていただきました。当イベントの趣旨に賛同していただいた作家の皆様には、山代和紙をお渡しし、その和紙を活かした様々な作品を作っていただきました。

和紙と言えば、障子紙や紙幣として使われる事が多いのですが、そんな和紙に「こういう使い方もあるのか」と、素敵な作品たちを見ながら思っていたいただければ幸いです。

是非、皆様もこの機会に、和紙の魅力に触れてみませんか？

賛同出品者一覧

賛助出品

周南市長 島津幸男

書道

佐伯 弦柳

渡邊 紅雲

長弘 聴空

八塚 紫泉

「ギャラリー紅雲」

(講師：渡邊 紅雲)

片山 游雪

江藤 理舟

山崩 昭江

福谷 麻江

野村 香園

臼杵 裕世

松林 喜久子

森本 節子

佐伯 キク子

山田 和子

中村 照代

田邑 洋子

梅田 理紗子

木村 眞子

松本 秀雄

コンピュータグラフィック

小林 功於

高下 正明

和紙人形

長沼 隆代

切り絵

中寅屋 敦臣

木版画

河村 よし子

日本画

中村 恭子

水墨画

山本 美文

水彩画

弘中 武士

山本 俊昭

大谷 悦子

中村 光子

山下 波留子

城 公子

隅 孝修

山永 恵子

山本 澄江

吉田 智世子

国広 京子

福田 智子

藤井 三津枝

田中 久美子

兼清 彼仲子

松宮 明子

大石 絢子

クレヨン画

高橋 滋

タペストリー

高橋 朱美

写真

中村 孝義

面

難波 夏喜

イラスト

木戸 可南

紡 友理香

徳田 和幸

竹細工

ふれあい竹工房

(講師：難波 夏喜)

ラッピング

ラッピング&花の店 彩花

(講師：岡田 舞)

ステンシル

(講師：松林 喜久子)

有馬 義次

大田 美和子

桐田 篤子

宮内 栄子

森藤 ふみ子

ちぎり絵

鹿野憩いの広場

(他 2名)

こんなイベントもあります！

3日・10日の10:00～15:00には、高齢者生産活動センター生産の和紙製品販売、および和紙をすいている長弘京子（長弘聴空）さんによる、和紙に「あなたの好きな言葉」を書く催しを行います。また、10日の10:30～11:00には、ラッピングを行う岡田 舞さんがいらっしゃり、簡単なラッピング教室も開かれますよ！

同時開催!

きんさい! 鹿野



現在の"弾正系桜"です。

つぼみもずいぶん膨らみ
始めていますね!

4月10日には、この桜は
どんな顔を見せてくれるん
でしょうか?

とても楽しみですな!

総合支所横に咲く、樹齢400年の弾
正系桜。

そんな系桜を見に来てくださった方
を、あたたかい"おもてなし"の心でお迎
えしたい.....そんな思いで、今年はちょ
っとしたイベントを企画しています!

観光ボランティアガイドによる周辺
地域案内の他、10:30からは日本舞
踊の舞台もありますよ。

10日は、桜を見に"きんさい"ね!

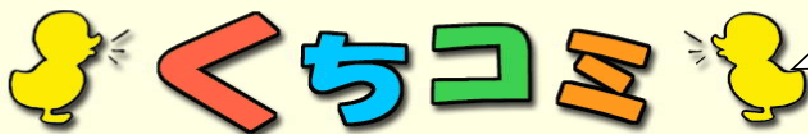
開催日時

4月10日(土)
10:00 ~ 13:00
鹿野総合支所前駐車場にて。
(雨天中止)

10:30~11:00には
日本舞踊も行われます!



住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー



号外！

好評開催中！

平成22年8月8日発行

きんさい！ 鹿野

このたび、町づくり応援団"えーる"では、廃校となってしまった大潮小学校を舞台にして、素敵なイベントを企画いたしました！ 家具をお安く販売するアウトレット店舗や、大潮小学校についての歴史を振り返るコーナーなど、色々な企画で皆様をご歓迎いたします。

大潮小学校にご縁のある方、久しぶりに懐かしい校舎に足を運んでみませんか？
学校にはやっぱり、人の声がよく似合うような気がします！

また、当イベントで得た利益は諸費用を差し引き、鹿野のために使わせていただきます！

このイベントを通して大潮、鹿野がもっと元気になればいいですね

大潮小学校までは、国道315号線を徳地方面へ道なりに進むことで到着します！
徳山駅から車で約40～50分の道のりです。暑い夏、緑の中をドライブ気分を訪れてみてはいかがでしょうか？

また、鹿野地域の方にはご購入した家具を配達するサービスも行います。大きいものを買って持って帰るのが大変……という方は、スタッフにお問合せください。



ごあんない

日時：8月毎週金・土・日 9:00～16:00

場所：大潮小学校

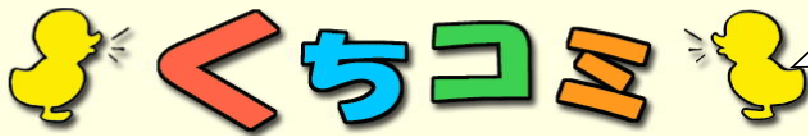
～くちコミ 号外～（平成22年8月8日発行）

発行者：町づくり応援団"えーる"

URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html



住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー



号外！

平成22年9月3日発行

きんさい！ 鹿野 オークションを行います。

暑さの厳しい8月もう終わり、9月になりましたね！

8月の週末に大潮小学校で行っていましたが地域活性化イベント「きんさい！ 鹿野」も一応の終了を迎えることとなりました。しかしながら、最後に何かしてみようじゃないか というわけで、家具類のオークションを行おうと思います！

オークションで得たお金は町づくり活動の費用として皆様に還元させていただきます。

オークションは、4・5日の二日間開催いたします。本日3日も、8月と同じように小学校を開放しておりますので、下見にいかがですか？

目玉商品はこちら！



オークションの目玉商品はこの2点。
ソファとテレビ台ですが、この2点は展示中にも目を留める方がとても多かった品になります。
この機会に、お安くいかがですか！？

こんな家具もありますよ！



テレビ台やパイプベッド、タンスなどの大型の家具や、一人で座れるソファやちょっとした物を入れる棚など、色々な物をオークション販売する予定です。

写真の通り、すぐ家の中で使えるような素敵なデザインの家具ばかりです。

買い替えを考えている方などには、ぴったりのイベントになるかも！？

この写真の品以外にも色々な家具を取り揃えております。是非、足を運んでくださいませ。



イベント情報

日時：9月4日（土） 5日（日）

両日とも、10：00、14：00の2回開催。

（9：00～16：00まで校舎開放）

場所：旧大潮小学校校舎

8月に開催した「きんさい！ 鹿野」会場です。

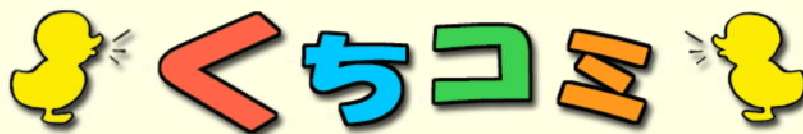
～くちコミ 号外～（平成22年9月3日発行）

発行者：町づくり応援団"えーる"

URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html



住民の 住民による 住民のためのロコミ情報ペーパー



WEB

“銀嶺の舞”レポート



花火だけではなく、煙幕やレーザー光線、音楽を使った演出もなされており、ただの花火とは一風変わった様子が見られます！

昨年の12月12日に、通算17回目となる

ぎんれい
“銀嶺の舞”が開催されました！

2008年は約10,000人、昨年はそれを超す12,000人の方が来場したこのイベントは、鹿野総合体育館そばのふれあい広場にてバザーを開いたり、冬の空に花火を打ち上げたりする、鹿野の冬恒例のイベントなんですよ。

実行委員会副委員長の渡辺さんに、来年に向けての意気込みを聞かせていただきました。

「今年から、“身近な人へのメッセージ”を伝えるラブメッセージという企画を始めたいんです。来年は、このラブメッセージをもっと盛り上げていきたいと思います」

今年で18回目となる冬の花火も、まだまだ進化していきそうですね！

“鹿野を元気にしよう”と始まったこのイベントは、地域住民が集まって結成された“新撰組”から、青年団、そして実行委員会と受け継ぎながら続いてきました。

鹿野の冬は寒く厳しいですが、こうしたイベントを通してもっと元気に、活気ある地域になっていければ素晴らしいと思います。

皆さんも、今年の冬は鹿野にいらっしゃいませんか？

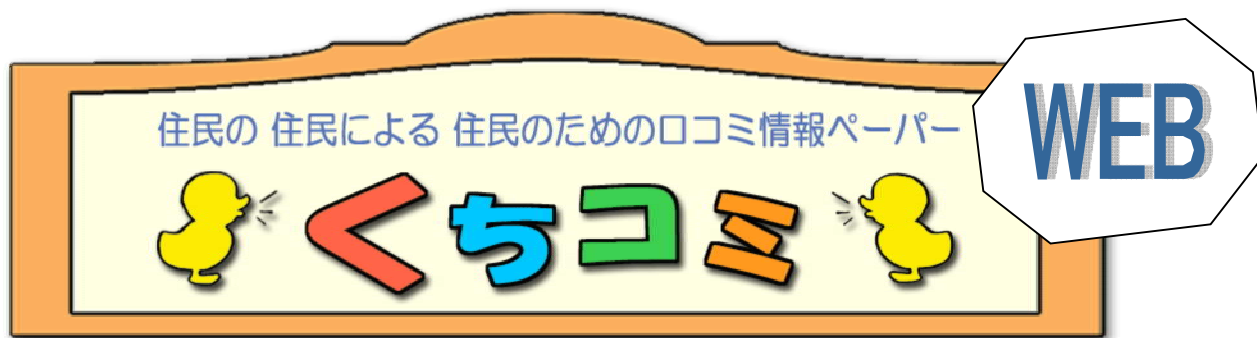


～くちコミ WEB～（平成22年1月21日発行）

発行者：町づくり応援団“えーる”

URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html





お別れバザーに行ってきました！



くちコミ12号でも取り上げました、渋川小のバザーに足を運んできました！ 2日間の開催のうち、初日の23日に行ってみたのですが... 昼頃に到着した時には、もうほとんどの物が売約済に。

当日は9:00からの開催だったのですが、小雪のちらつく寒い中にも関わらず、7:30頃から、なんと100人も行列ができていたそうです。

渋川地区の皆様によるうどん、ぜんざいなどの販売もあり、昼食時には教室の中でそれらの炊き出しを食べるお客の姿も見られました。

「子どもの名前が入った机を買いました」という卒業生の親や、「昔、これを使って教えていたことがある」という教師の方など、様々な方が会場に足を運び、当時を懐かしんでおられました。

また、昔の写真のアルバムを見ながら、「こりゃあの子じゃ」と知り合いの昔の姿を見つけ、笑顔を見せている方もおり、まさに思い出に残るバザーになったんじゃないかな、と思いました。



黒板にも、当日の日付が書き込まれていました！
こうした演出も、昔を思い出させてくれるなぁと思います。

ごらんください！
朝早くから、こんなにたくさんの方が足を運ばれたんですね。
訪れたみんなにとって、良い思い出になっていればいいなと思いました。

